



子どもたちの将来を見据えて国際姉妹都市の検討を

あやせ未来会議 安藤多恵子

問 市長が選挙で掲げた、スローガンの中に、子どもたちに夢を、とある。これから迎える東京オリンピックを契機に、国際交流の場も増え、子どもたちに、具体的な夢を持ってもらう良い機会だと思ふ。子どもたちが世界へ羽ばたくために、国際姉妹都市の提携を検討すべきと思うが、厚木

基地内にメリーランド州立大学があることから、同州内の街と姉妹都市提携をし、市民が優先入学できるように考えないか。また、国際姉妹都市にこだわらず、基地内の大学との交流も積極的に行わないか。

答 国際姉妹都市の提携は、お互いの国の生活、文化を理解し、人と人の友好につながるなど、その意義については承知している。本市の特

徴や強みなど、どのようなつながりを視点とするかを整理し、情報収集していきたい。市民の優先入学が可能かどうかは、把握できていないため、今後確認し、調整したい。また、基地内の大学との交流は、学生の人数や活動状況などを確認した上で、市で実施している国際交流事業などへの参加が可能かどうか、関係機関と調整していきたい。(ほかに「2020東京オリンピックに向けての市として取り組み準備することは」「市の事業遂行のために『クラウドファンディング』を活用しては」を質問)



校内巡視員を復活し不審者侵入対策の強化を図っては

志政あやせ 古市 正

問 7月26日に発生した津久井やまゆり園での事件は、15年前に大阪で起きた池田小学校事件をほうふつとさせる。この事件以後、全国の小中学校ではさまざまな不審者侵入対策がとられるようになった。本市でも以前、不審者侵入対策として校内巡視員が配置されていたと聞くが、配置をやめた経緯は。また、昼間に巡視する者がいれば、防

犯や不審者が侵入する際の抑止効果があると考ええる。やまゆり園のような事件が起きる現在の社会状況の下では、不審者侵入に対して、抑止効果が高い校内巡視員の復活が最も有効と考えるがどうか。

答 平成17年度から、小学校全校に校内巡視員を配置したが、夜間にガラスが割られるなどの被害が発生し、学校現場からは防犯カメラの設置を早期に望む声があった。日中の見守りはできなくなるが、朝夕の見守りを各校に配置している校務作業員で補うこととし、26年度に学校の防犯対策として防犯カメラへ切り替えた。また、校内巡視員を配置することによる不審者に対する抑止力は、効果が期待できるものの防犯カメラに切り替えてから年数もまだ浅く、今後、限られた財源の中でより効果的な安全対策のあり方を研究していきたい。(ほかに「神崎遺跡の活用」を質問)



高齢者が在宅生活を継続し社会参加できる取り組みを

あやせ未来会議 比留川政彦

問 平成28年2月に策定された市人口ビジョンでは、今後、急速な高齢化が進行する中で、後期高齢者の増加に伴う医療や介護サービスのニーズの増大が予想されるとしている。その解決策として、自立した生活を続けることができ、高齢者を増やし、健康寿命延伸に向けた取り組みが重要だとされている。現在の介護認定率や保険料の低い状態を保

つためにも、高齢者が自宅での生活を続けながら、社会参加のできる環境を整えることが重要だと思ふが、市はどう取り組んできたのか。今後、課題をどう解決していくのか。

答 高齢者の生きがいや健康づくりとして、グラウンドゴルフ大会や温水プール利用者助成などを実施するとともに、社会参加を促すために就業支援を行ってきた。本市は後期高齢者の割合が県内で3番目に低いが、今後、急激な増加が課題となる。解決に向けて、ひとり暮らし高齢者などの社会的孤立を防ぎ、身近な地域での健康づくりや介護予防事業を展開し、地域との日常的な関わりを形成していく。さらに、市民の自発的な健康維持と増進の取り組みを促すことが必要と考えている。(ほかに「子ども・女性政策の方向性と具体的な取り組みについて」「ロケ誘致をどのようにに観光事業へ発展させるか」を質問)



綾西テニスコートを市民が利用しやすい運営体制に

日本共産党 松本 春男

問 昭和45年の、綾西団地開発の際、相模鉄道株式会社から公園用地として市が帰属を受けた土地に、テニスコートがある。市は、この綾西テニスコートを直接管理して多くの市民が利用できるようにすべきだと思ふが、現在、管理は綾西テニスクラブが行っている。平成15年に指定管理

者制度が導入されたが、公の施設の管理方法として市の直営、もしくは指定管理者以外の方法が可能なのか。また、テニスコートは会員以外の多くの方が利用されると思うが、利用者が混雑してきた場合は、必要に応じて公開抽選を行う考えはあるのか。

答 綾西テニスコートは、昭和53年に当時の綾瀬町長と地域住民の有志で組織された

綾西テニスクラブ会長との間で、清掃、草取りなどの維持管理及び運営に関する覚書を締結し、テニスクラブに維持管理をお願いしている。このような公の施設の管理は、直営、指定管理者以外による管理方法はない。また、綾西テニスコートは市民の方がいつでも誰でも気軽に使え、利用したい方が自由にコートに集まり、譲り合いながら利用する施設であり、予約申し込みを受け付ける施設ではないので、公開抽選は行わない。(ほかに「落合・吉岡地区まちづくりについて」「市長の市政運営について」を質問)



地域の状況に合わせた公共交通機関のさらなる充実を

志政あやせ 金江 大志

問 本市は、鉄道の駅がないことで、全ての世代の方が交通の不便を感じている。人口ビジョン策定のためのアンケート調査でも、多くの市民から同様の結果が出ており、若い世代が他市へ移住する要因と考える。1人でも多くの方に住み続けてもらうためには、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの供用開始に合わせ、高速バスと周辺駐車

場の整備による利便性の向上が必要と考えるが、どのような検討をしているのか。また、交通網は、時代や地域の状況に合わせたものが大事だと思ふが、コミュニティバスをより利用しやすくするため、どう検討を行っているのか。

答 本市は、市民の足であるバス交通の充実が最優先課題となっている。(仮称)綾瀬スマートインターチェンジを活用するパーク・アンド・バスライドは空港行きも含めて実施を考えているが、広域的利便性を向上させるカーシェアリングとの組み合わせは、今後、研究していきたい。また、コミュニティバスは、路線バスの補完や交通不便地区の解消、高齢者の外出支援、市中央部へのアクセス向上のため、5ルートの実行を行ったが、それ以外に、地域バスやデマンド交通などさまざまな地域の実情、人口構成も加味し、新たな組み合わせを考慮することが必要と考えている。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。なお、9月定例会の会議録は、11月下旬に閲覧できる予定です。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センターの会員が配布しています。お手元に届かない場合は、同センター(☎70-3088)へご連絡ください。

次号は、平成29年2月15日発行です。